



仁和寺

鳳凰山 神野良英

仁和寺 (御室御所)

仁和寺は仁和四(八八八)年創建となる真言宗御室派の総本山です。

この仁和寺札も種類が多く、中分類を入れながら見ていこうと思いますが、タイプによっては未見のものも多く、今回は確認札のみの記載とさせていただきます。

森本清左工門 / 森本清左衛門 (A)

○御用所 (南都 中辻町)

- ・ 銀二匁 【150】 ①
- ・ 銀壹匁 【600】 ②
- ・ 銀五分 【30】 ③

こちらの二匁札には複数の版木が確認されており、長期に亘る発行も考えられます。

大小様々な押印が見られ、その収集に熱の入るという事です。

○庄田儀左工門 (相楽郡 祝園村)

- ・ 銀二匁 【200】 ④
- ・ 銭百文 (二匁札に押印) 【700】 ⑤

○片岡又右工門 (添上郡 大柳生村)

- ・ 銀二匁 【350】 ⑥

○空欄

- ・ 銀式匁 【600】 ⑦
- ・ 銀五分 【400】 ⑧

こちらの式匁札は壹匁札の版木を流用したもので、表面は四・五段を差し替え、裏面は三段の中央を抜き、額面を嵌め込んでいます。

五分札は表面の五・六段を削除することで押印のスペースを確保したようです。

御米下融通手形 (B)

○宅原村引請所 嶋屋五兵衛 (一)

- ・ 銀式拾匁 【700】 ⑨
- ・ 銀拾匁 【300】 ⑩

・ 銀五匁 (青) 【250】 ⑪

・ 銀壹匁 【100】 ⑫

・ 銀五分 【350】 ⑬

後掲札ともども文久三年の発行札です。

○宅原引替會所 (二)

・ 銀五匁 (青) 【350】 ⑭

・ 銀壹匁 【80】 ⑮

・ 銀三分 (赤) 【500】 ⑯

・ 銀壹分 (黄) 【500】 ⑰

三分札の表面二段の左には「慶應……」と入っているようにも見え、厳密にはこのタイプではないのかもしれませんが。

○摂州宅原馬場五兵衛 (三)

・ 銀式拾匁 (赤) 【400】 ⑱

・ 銀拾匁 (赤) 【250】 ⑲

・ 銀五匁 (赤) 【150】 ⑳

・ 銀式匁 (赤) 【40】 ㉑

・ 銀壹匁 (赤) 【250】 ㉒

・ 銭式百文 (赤) (式匁札に押印) 【350】 ㉓

① 仁和寺・A 御用所 銀二匁



[150]



(法量 163×4.3 cm)

② 同・A 御用所 銀壹匁



[60]



(法量 161×3.9 cm)

③ 同・A 御用所 銀五分



[20]



(法量 160×3.2 cm)

④ 同・A 庄田儀左子門 銀二匁



[200]



(法量 167×4.3 cm)